

パブリックコメントの実施結果

1 募集期間

令和5年12月1日（金）～12月15日（金）（15日間）

2 実施方法

荒川区健康増進計画（令和6～11年度版）（素案）について、全文及び概要版を、がん予防・健康づくりセンター（健康推進課）、荒川区役所本庁舎地下1階情報提供コーナーにおいて閲覧に供するとともに、荒川区ホームページ、あらかわ区報、各荒川区公式 SNS に掲載いたしました。

3 提出意見

提出人数 10名

意見件数 24件

4 意見の取扱い

計画に意見を反映する	◎	1件
既に計画に盛り込まれている	○	7件
意見・要望として今後の参考にする	★	16件
合計		24件

5 提出された「意見の要旨」とそれに対する「回答（区の考え方）」

番号	意見の要旨	回答（意見に対する区の考え方）	計画への反映
第2章「区民の健康を取り巻く状況」			
1	健康寿命について、東京都の「65歳健康寿命」の留意点（65歳未満の障害を計算対象としない等）と国が目標としている厚生労働省方式による健康寿命を併記するとよい。併記することで、2030年までに健康寿命を男女ともに75歳以上を目指すことができる。	ご指摘を踏まえ、東京保健所長会による65歳健康寿命の留意点として、65歳未満の障害を計算の対象としていない点、65歳以降の健康状態の期間を表す指標であり、健康の実測値でも将来予測でもない点等を追記いたします。 また、国の健康寿命延伸プラン等で基準として扱われる厚生労働省方式による健康寿命（東京都）を併記し、2つの指標の違いを分かるようにいたします。	◎

番号	意見の要旨	回答（意見に対する区の考え方）	計画への反映
第3章「荒川区健康増進計画（平成29～33年度）の評価」			
2	CKD（慢性腎臓病）は糖尿病対策だけでは解決できなくなっている。	CKDの主な原因は糖尿病や高血圧とされていますが、主な対策は生活習慣全般の改善が挙げられています。 本計画では、「基本目標1 生活習慣の改善による健康状態の向上」を目指しており、CKDを含めた生活習慣病やその重症化・合併症を防ぐ様々な取り組みを実施してまいります。	○
第4章「荒川区健康増進計画（令和6～11年度）」			
3	区の栄養相談について、薬剤師会が行う薬と健康の無料相談会では20名以上の相談があり、こうした場でPRしてはどうか。	令和5年度の荒川区薬剤師会の無料相談会には、区の栄養士も出席し、区事業のPRをさせていただきました。 今後も、荒川区薬剤師会との更なる連携やオンラインでの栄養相談の充実等で栄養相談の利用者の増加を図ってまいります。	○
4	あらかわ満点メニュー・おうちde満点について、高齢者向けのメニューの開発支援及び普及啓発をしてほしい。	あらかわ満点メニュー・おうちde満点は、外食をする機会の多い働き盛り世代の方の健康づくり支援の一環として開始され、現在は提供店・メニュー数も増え、あらゆる世代の方を対象としております。今後、高齢者におすすめのメニューが分かる形で普及紙等に記載するとともに、さらなるメニューの充実に努めてまいります。	★
5	オンラインによる運動は良い施策と思うが、パソコン等に不慣れな高齢者の対応はどう考えているか。	区では、老人福祉センターやシルバー人材センター、シルバー大学、ふれあい館等で高齢者向けのスマートフォン講座やパソコン教室を開催し、高齢者にパソコンなどの基本的な操作を学ぶ支援を行っています。 また、オンラインによる事業を展開する際は、分かりやすい利用案内の作成や体験会などによって、パソコンなどの利用に不慣れな方にも利用いただけるよう周知の工夫に取り組んでまいります。	★

番号	意見の要旨	回答（意見に対する区の考え方）	計画への反映
6	オンラインによる運動に必要となる設備（インターネット回線や端末など）に対する助成金などは考えているか。	区内では、区民サービスの一環として図書館やふれあい館等の区民施設（20か所）において公衆無線 LAN（Wi-Fi）を提供しています。個人利用に係る経費の助成ではありませんが、こうしたサービスを活用して、事業に参加いただけるよう周知してまいります。	★
7	元気で長生きのコツは、集う、世間話であり、ころばん体操が大切だと思う。	荒川区健康づくり体操は、足腰の筋力と柔軟性を高め、バランス能力を向上させることで転倒や寝たきりを予防するもので、フレイル予防の回復と推進に効果的です。また、集団で体操に取り組むことで参加者同士の交流ができ、閉じこもり予防にも繋がるため、「通いの場」としての一翼も担っています。引き続き、事業の充実を図り、健康寿命の延伸を目指してまいります。	○
8	体操リーダーを担当しているが、暑い夏、寒い冬も来てくださる方々に感謝している。今後は、近くの「町会会館」でもころばん体操ができれば良いと思う。	地域でころばん体操を自主的に実施する場を「自主運営会場」としており、現在、区が把握しているだけでも17の自主運営会場がございます。区では、職場や自宅などを活用し自主運営会場を開催していただける方に、体操で使用する物品やDVDの配付、体操リーダー養成講座の開催など様々な形で支援を行っていますので、是非ご相談ください。	○
9	区は荒川区健康づくり体操で高齢者の運動環境整備を推進することで、運動習慣の獲得を支援し、効果を得ている。超高齢化に備え、地域団体と連携し、荒川区健康づくり体操の周知活動を行ってはどうか。	区では、荒川区健康づくり体操の周知のため YouTube やケーブルテレビなどの活用や、リーフレットを作成して健康情報提供店などで配付を行うなど取り組んでまいりました。今後、地域団体と連携して周知することで、体操事業の利用者の更なる増加を図ってまいります。	★

番号	意見の要旨	回答（意見に対する区の考え方）	計画への反映
10	<p>あらかわウオーキングマップについて、地域や世代ごとに体力に合わせたマップを作ってほしい。</p>	<p>あらかわウオーキングマップについては、区民の皆様楽しんでいただけるよう距離や場所が違う13のコースを紹介しております。今後は、ご意見を踏まえ、世代ごとに負荷の強度を考慮したおすすめのコースを表記するなどの工夫を図ってまいります。</p> <p>また、区民の関心を高めるため、区民公募による新しいコースの作成も予定しております。</p>	★
11	<p>「スポーツひろば」で区内の小中学校を開放しているが、高齢者が使いやすいよう、地域の学校を日中利用できるよう開放してほしい。</p>	<p>日中は地域の学校で授業が行われており、一般の方に開放することは困難な状況となっております。</p> <p>区では、「荒川区健康づくり体操」や「公園からの健康づくり」などの事業の実施や、現在、改修を計画しているあらかわ遊園スポーツハウスなど、スポーツ施設やふれあい館の充実により、高齢者を含む区民の皆様が運動できる場所づくりを進めており、引き続き充実を図ってまいります。</p>	★
12	<p>受動喫煙から区民の健康を守るには、喫煙者のマナー向上が最も重要で、「受動喫煙の環境整備」に喫煙所の整備を盛り込むべきではないか。</p>	<p>区では、公衆喫煙所の整備を行う事業者等に対し、設置等の経費を助成する制度を設けるなど、喫煙所の整備促進に取り組んでおります。その結果、現在、区内の駅前を中心に区営と民営を合わせ8か所まで公衆喫煙所を増やしてまいりました。駅前等は適地の確保が困難な状況ですが、今後、駅前開発や大規模施設建設の際は、分煙環境の整備にも積極的に取り組んでまいります。</p>	★
13	<p>荒川区は、足立区など他の区と比べて、喫煙所の数が不足していると感じ、困ることも多い。喫煙所がもっとあれば、ポイ捨ては減り、周りの人にも迷惑にならないのではないか。</p>	<p>区民の皆様からの声等を参考にしながら、今後も喫煙マナーの向上と分煙環境の整備に取り組んでまいります。</p>	★

番号	意見の要旨	回答（意見に対する区の考え方）	計画への反映
14	<p>令和5年度の学校保健大会で、ゲーム・インターネット依存の対策として学習等以外のタブレットの使用を控える話があったが、その点も普及啓発してはどうか。</p>	<p>ゲームやインターネット等の利用に伴う新たな健康問題については、「施策5 こころの健康づくり」で目標に定め、電子スクリーン症候群の普及啓発等を取組みに掲げています。</p> <p>平日のスクリーンタイムが学習以外で3時間以上の子どもの割合（全国体力・運動能力、運動習慣等調査）が高く、なっていることを課題としており、学習以外での自己管理についても普及啓発してまいります。</p>	★
15	<p>睡眠の重要性が重点的に記載されており、大変良い計画である。睡眠は食事や運動以上に大切で、これは高齢者だけでなく、幼児・子ども・若者・壮年と全ての方に重要である。睡眠は身体を休めるだけだと思っている方が多いが、生活習慣病や死亡のリスクの改善にも重要である。</p>	<p>「施策5 こころの健康づくり」では、睡眠対策を取組みの方向性に定め、「睡眠時間が十分に確保出来ている人の割合」を新たに指標に設定するなど、睡眠の重要性に注目しています。</p> <p>睡眠は単なる休息ではなく、生活習慣病のリスクや死亡率上昇に関与することや良い睡眠の目安も本文やコラムで記載しており、区民の皆様に睡眠の重要性をお伝えしております。</p>	○
16	<p>HPVのワクチン接種は、若い女性が来局する薬局（耳鼻科・皮膚科近くの薬局）などに集中してアピールしてはどうか。</p>	<p>令和5年度から荒川区薬剤師会と連携し、区内薬局で健康情報の提供を行っている中で、様々な手段でHPVワクチンの周知啓発を実施しております。</p> <p>区では、引き続き効果的な周知を実施してまいります。</p>	★
17	<p>区民主体の「健康ポイント事業」プロジェクトを立ち上げ、自然と健康になれる環境づくりを行うとよい。</p>	<p>「インセンティブを活用した健康づくり支援」については、先行自治体の事例や区民の皆様からの声等も参考にしながら、実施に向けた検討を行ってまいります。</p>	★

番号	意見の要旨	回答（意見に対する区の考え方）	計画への反映
18	65歳以上の荒川総合スポーツセンターの利用について、個人利用料が免除になることをさらにPRしてもらいたい。	利用料金の減免制度は区民向けに配布しているスポーツ施設の利用案内冊子等で周知をしているところですが、引き続き広く周知に努めてまいります。	★
19	荒川区総合スポーツセンターの利用について、記録や目標、効果が分かるような健康手帳などを配布してほしい。	トレーニング室では、コース別のトレーニング方法の紹介と、実施したトレーニングを記録いただける用紙を配付しておりますので、是非ご活用ください。	★
20	健康づくりの環境整備として、もっと薬局にパンフレットを置くことはいかがか。	区では、区内の駅やスーパー等で健康情報を提供する「健康情報提供店」の整備を進めています。令和5年度から荒川区薬剤師会とも連携し、区内薬局で情報提供を行っており、引き続き充実を図ってまいります。	○
21	「まちなか測定」のPRや周知に地域団体と連携してほしい。	「まちなか測定」については、より多くの区民に自身の健康管理として活用いただきたいと考えておりますので、地域団体と連携し、PRしてまいります。	★
22	「地域団体、民間事業者、大学等との連携事業」について、荒川区高年者クラブ連合会とも連携してほしい。	区では、健康に関する分野における区民の多様なニーズや地域の諸課題に対応に向け、様々な地域団体や民間事業者、大学等との連携を進めてまいります。	★

番号	意見の要旨	回答（意見に対する区の考え方）	計画への反映
その他の意見			
23	健康増進計画に賛成である。	本計画に基づき、区民が生涯にわたって心身ともに健康で生き生きと暮らせるまちを目指してまいります。	○
24	健康づくりは自己責任の部分もあるため、健康づくりに関する相談窓口等を分かりやすいよう工夫してほしい。	区では、区民の皆様の相談に応じて保健師や栄養士、歯科衛生士等の専門職が町会や地区組織等の会合の場や地域でのイベントに出向いて希望のテーマで健康教室を行う「どこでも健康教室」や各専門職による「健康相談」を実施しております。 今後、地域団体等へPRを行い、認知度の向上を目指してまいります。	★